

2.8

(3) ティーチング・アシスタント (TA) の活用

工学部の授業科目の教育補助として、優秀な大学院自然科学研究科博士前期課程在学者を、また、大学院自然科学研究科博士前期課程の授業の補助として、優秀な大学院自然科学研究科博士後期課程在学者をティーチング・アシスタント(TA)として採用した。平成 22 年度の採用状況は次のとおりである。

表 3-1 平成 22 年度 TA 採用状況

区分	利用者数	総時間数	時 給	予算配分額
工学部	338 名	13,281 時間	1,090 円	14,505 千円
大学院自然科学研究科(工学系)	7 名	226 時間	1,220 円	276 千円